

## 第5回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議次第

日 時：平成27年11月27日（金）13：00～

場 所：長沼町役場 3階第1会議室

1 開 会

2 焼却施設建設候補地現地確認

3 議 題

1) 3次選定評価項目（案）について

2) その他

4 閉 会

第5回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 会議概要

日時	平成27年11月27日(金) 13時00分～15時00分
場所	長沼町役場 3階 第1会議室
出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
会議要旨	<p>1 1・2次選定候補地4箇所について、現地確認を行いました。</p> <p>2 議題1)「3次選定評価項目(案)について」 資料2により3次選定項目案について事務局から説明を行い、質疑・意見交換を行った後、説明済としました。</p> <p>3 議題2)「その他」 次回会議について12月9日(水)10時から、千歳市環境センターで開催する旨了承を得ました。</p>
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 焼却建設候補地現地確認</p>
事務局	<p>候補地視察の要領について説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料、A4の地図に記載しております①～④の番号がついた四角形が焼却施設建設候補地であり、この番号順に、事務局車両の先導により廻って参ります。</p> <p>その後、この会場に戻っていただき、評価項目の追加、削除等の検討をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(現地確認：資料1 建設候補地現地視察図の行程により視察)</p>
委員長	<p>(長沼町役場会議室帰着)</p> <p>皆様お疲れ様でした。現地を見ていただきまして、今まで検討していただいた内容について、もう一度検討いただきたいと思います。</p> <p>あらためまして本日の議題に入りたいと思います。議題の1、3次選定評価項目(案)についてお手元に資料がありますけれども、これについて事務局からお願いします。</p>
	<p>3 議題</p> <p>1)「3次選定評価項目(案)について」 事務局から、資料2「3次選定 評価項目(案)」により説明。</p>
事務局	<p>お手元には資料としてA3の「3次選定評価項目(案)」と、もう1枚A4縦の図面がありますが、A4の図面は、前回会議の資料では下水道の位置がわかりづらいというご指摘があったことから、候補地4箇所と下水道だけ抜き出して作成したものですので、後程ご覧いただければと思います。</p> <p>次に3次選定評価項目(案)の3ページですが、「7. 経済性」のNo.26とNo.27について、前回計算方法の表現がわかりづらかったので、修正しております。No.26につきましては、各候補地の点数は5点満点×最も安い候補地の運搬コスト÷各候補地の運搬コスト、No.27につきましては、各候補地の点数は5点満点×最も安い候補地の事業費÷各候補地の事業費、という内容に修正しております。この式につきましては、候補地の中で最も金額の安い候補地の金額に対する各候補地の金額の比率を満点の5点にかけて、点数を算出するということになります。例として、ある候補地の金額が、候補地の中で最も金額の安い候補地の2倍の金額であれば、5÷2で2.5点となりまして、四捨五入すると3点になります。</p>

	他の項目につきましては、前回と変更修正はございません。以上です。
委員長	<p>今説明がありましたのは、前回理解しづらかったという経済性に関する計算式をあらためて示したというものです。</p> <p>では、今回視察いただきまして、あらためて評価項目についてお気づきの点があれば、ご意見等いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
A委員	この評価項目により点数をつけていき、点数が一番高い候補地に決定するというのか。
事務局	項目ごとの点数を全部足していったら、第1位から4位までの順番を決め、一番点数の高い第1位の場所を最も適した候補地といたします。
A委員	それはどこか、まだわからないのか。
事務局	これから評価していきます。
B委員	これは、全部単純に合計して、点数の高いところに決まるという考え方なのか。であれば、各項目の点数は全て最高点が5点だが、重要度において例えば10点に相当するのではないかというような場合があっても、全て5点であれば単純に足した場合、点数が高いほうも低いほうも同じような評価になってしまうと思うが、その辺の考え方はどのようになるのか。
事務局	今の資料では参考として評価基準と点数が書いてありますが、今後、各項目の配点の重みについても考慮していかなければと思っています。今は見やすいように、全て5点としてあります。
C委員	No. 11の洪水想定との関係で、評価の考え方で「河川からの距離が長いことが望ましい。」とあるが、具体的には千歳川を指しているのか。それであれば、必ずしも距離が長いことが洪水回避に直結するとは考えられず、むしろ排水機場の条件からいえば、河川に近くても排水機場に近ければ洪水に遭いづらいつつということも考えられるので、河川からの距離が長い短いで評価するのはいかがなものかと思われる。
委員長	もう既にこの4箇所は絞られて、これを見たときにこれで良いのかということもありますので、表現をちょっと考えていただければと思います。
D委員	千歳川は1級河川ではあるが、具体的に今回見た4箇所は、川に近いのか遠いのかでいえば大差が無いと思うのと、治水対策を今高速道路の向こう側でやっているのだから、あれができることによって、大雨が降っても洪水になることはないだろうとの想定であれば、あまり川に近いということは考えなくても良いのでは。
事務局	項目につきましては、考えられるものはある程度全て挙げていますので、逆に今回場所を見ていただいて、4箇所とも似たような場所ということで削除すべき項目もあるのではないかと考えていただければと思います。
C委員	特に、この項目の評価基準は相対評価になっているので、絶対評価であれば何km以内では何点、ということにできるが、相対評価であれば削除しても良いのではないかと。

委員長	削除するというのではなく、やはりここは考えておく必要はあるのかなと思います。項目は残して、この評価の考え方を少し表現変えて。今皆さんおっしゃったように、相対的にはどこも同じぐらいじゃないですかということで、皆5点、あるいは3点でも良いとそういうような評価ではなかろうかという。今後良く調べていただいて、項目的には自然災害という意味でやっぱり考えておく必要はあるが、この当該地点を考えると、それほど差は無いということになるのかなと思います。
C委員	であれば、この4地区については、①(34-1)についてはすぐそばに排水機場があり、②~④についても排水機場に繋がっているということで、治水対策はある程度なされている地区といえるので、水害想定の中では、治水対策がある程度できている、できていないというような評価の考え方、評価基準としてはいかがか。
事務局	皆さんそれでよろしければ、評価の考え方をそのように修正をさせていただきたいと思います。
委員長	皆様そういう形でもよろしければ、今言われた考え方にさせていただくのがよろしいかなと思います。文献等を調査しながら、それで問題無いかどうかをチェックしていただくということで。
D委員	No. 13の標高も同じことではないか。
事務局	地図で調べた範囲では、高い所で8m、低い所で6mぐらいです。
E委員	今回廻ってきた所は、他の地区にないくらい排水溝が多く見受けられる。ということは、平坦な地域ではあるけれども、やはり水の出ることが結構多いのかなということで、水はけの悪さが少し気にかかるが、これは今後少しかさ上げしていく可能性もあるのか。10mや5mというような。
事務局	まだ何mまでは決定はしていませんが、水害対策を考えますと、若干土盛り等は必要なのではないかと思っています。
A委員	No. 25について、例えば土地取得の可能性の低い場所が第1位になった場合はどうするのか。
事務局	それもこれからの配点の重みになると思います。条件が良くても地権者の方が絶対に売らない、という場合にはそこが第1位になって良いのかというものがありますので、そういう部分の配点の重みは考えていかなければならないとは思いますが。
A委員	特に④(35-2)、このあたりは基盤整備も済んだばかりで、人家も近い。おそらく地元の人に聞いても嫌だと言って、難しいかなと思う。 また、No. 27に関して言えば、あの場所は畑の真ん中なので道路が無く、これから造成してということになるので、コストは高くなると思われる。
C委員	評価基準の相対的な評価の部分だが、例えばNo. 10、No. 11、それからNo. 14から16、相対評価はこの候補地に対しての相対評価ということで良いか。であれば、例えば組合構成以外の自治体からの距離などはそれほど差が出てこないと思うので、差し障りがある、例えば何km以内だったら問題があるというような絶対値を出して、それに対する評価基準にしてはどうか。

事務局	<p>それも検討させていただきます。確かに相対的な近い遠いでは、何をもって評価するか、評価する人によって変わるということもありますので、目安となる数字なりを考えるのも必要だとは考えています。参考の評価基準や点数は、4箇所の候補地が決まる前に検討した項目です。実際この4箇所は近い場所にありますので、この評価基準についてもそれらを踏まえて、わかりやすいような基準等を考えていきたいと思えます。</p>
B委員	<p>結局のところ、この会議で評価基準をもって候補地を決めるわけではないということの良いか。</p>
事務局	<p>この評価項目につきましては、今の4つの候補地をひとつの候補地に絞り込むための作業になります。その候補地をひとつに絞り込んだ後に、その地権者や周辺住民の方とお話をさせていただいて、予定ですけれども平成28年度中に建設予定地を決定できればと考えているところです。</p>
B委員	<p>①以外の3箇所はだいたい似たり寄ったりであまり変わらないと思うが、基準だけの話ということになれば、もう自分達が話すことは無いんじゃないかな、とも思うが。</p>
委員長	<p>評価項目と評価の考え方について、最終的にはこれが良いでしょうと決めていただいて、あとは、それをじゃあどういう評価基準でやるかということに対して、こういうことまで考えた方が良いのではないかという、皆さんのお知恵をインプットしていただくということで、皆さんの忌憚りの無いご意見をいただければと思います。</p>
B委員	<p>最終的には、何回も言うようだけれど配点ではないか。</p>
委員長	<p>皆さん他に気になるところないでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次回はまとめという形で、報告書という格好にしていきたいと思えます。事務局からも、最終的な検討項目の案ということで、本日の意見が反映されたものを御案内いただければと思います。それでは、議題1に関してはこれで承認されたということにさせていただきます。議題2 その他でございますけれども、全体通してご意見ご質問等ご自由にご発言いただければと思います。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>よろしいでしょうか。それでは事務局から次回の連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>次回、最終になりますけれども、第6回の会議は12月9日(水)10時から、千歳市環境センター2階研修室において開催したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。それでは以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。次回12月9日が最終回ですけれども、よろしくお願ひいたします。どうもありがとうございました。</p>
	<p>4 閉会</p>

## 別紙 出席者名簿

### 1 焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委員長	吉 田 淳 一	識見
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	沼 田 常 好	千歳市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	中 川 勝 美	千歳市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	副委員長	麻 生 昌 裕	北広島市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	小 池 隆 史	北広島市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	三 步 幸 光	南幌町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	佐 藤 秀 雄	南幌町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	榎 本 義 隆	由仁町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	黒 川 範 子	由仁町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	窪 田 秀 治	長沼町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	菊 澤 巧	長沼町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	工 藤 公 雄	公募

### 2 組合事務局等担当職員

所 属	職 名	氏 名	備 考
道央廃棄物処理組合事務局	局 長	平 仁 志	
道央廃棄物処理組合事務局	次 長	井 上 晴 雄	
道央廃棄物処理組合事務局企画課	課 長	高 橋 功	
道央廃棄物処理組合事務局施設課	課 長	武 内 洋 之	
道央廃棄物処理組合事務局企画課企画係	係 長	小 川 大 輔	
道央廃棄物処理組合事務局総務課総務係	係 長	石 田 巧	
道央廃棄物処理組合事務局施設課施設係	係 長	村 中 康 之	
株式会社エイト日本技術開発		長 尾 竜 二	
株式会社エイト日本技術開発		中 山 伸 吾	